

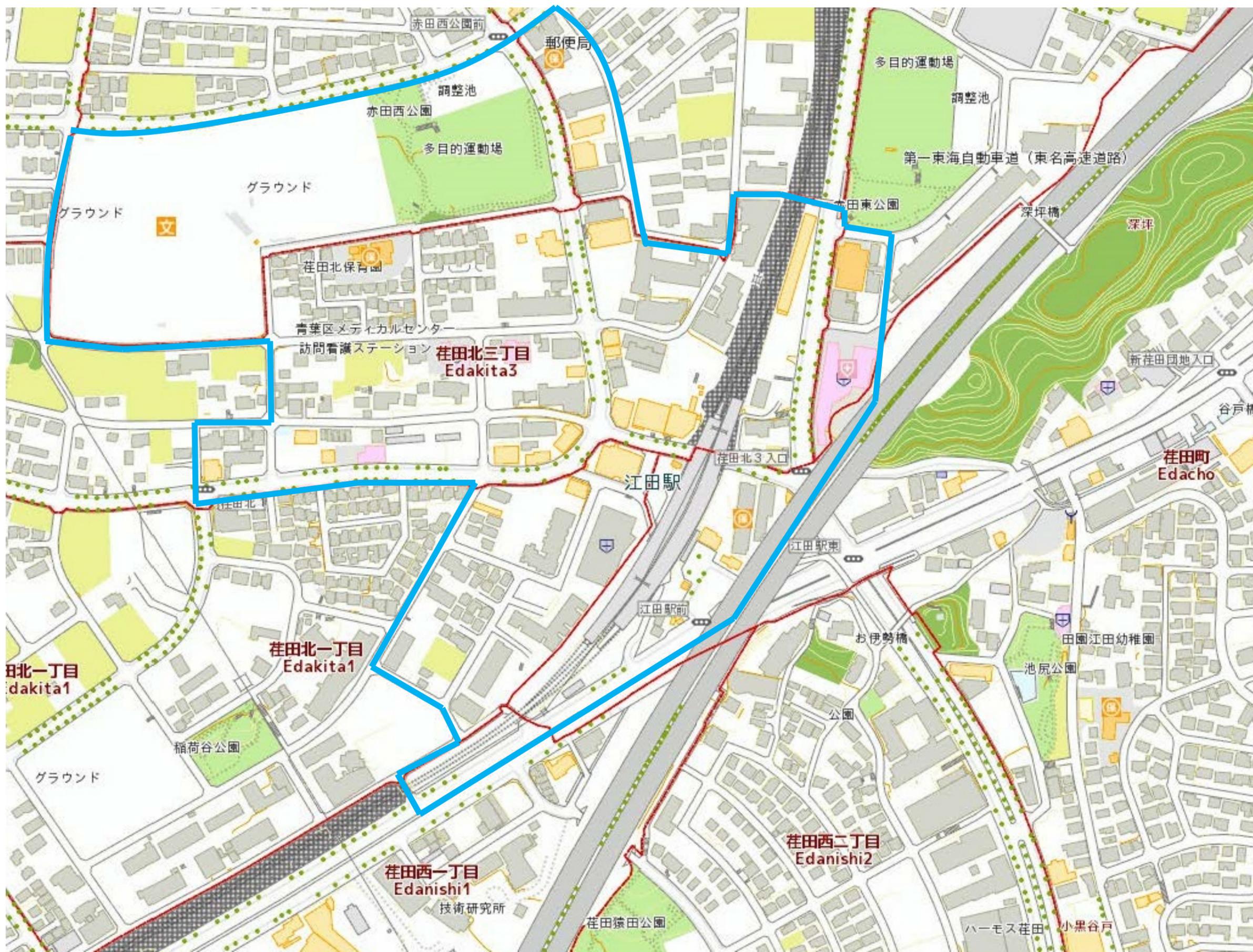
江田駅周辺地区 地域緑化計画書

計画名：edatomo みどりUP計画

推進団体名：エダトモ・グリーン・クラブ



地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>平成28年度 ～ 平成30年度</p>
<p>計画概要</p>	<p>江田駅周辺の地域を緑あふれる、豊かな、美しい街とするためのプランです。現在の活動母体である、エダトモ・フラワー・ロード・リンクによる街の美化運動の発展形で、緑のまちづくり計画を実施します。</p> <p>この街づくりのポイントは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道路歩道の樹木下部分を花壇化する。 ② 駅近隣の病院や会社、店舗が保有する、雑草だらけの私有地をきれいな花壇に変身させる。基本は手前に小さな花を配置し、その上部、又は後部を背丈の低い（40cmから60cmくらい）樹木を配置する ③ 駅近隣住宅地へのプランター設置（玄関先及び壁面） ④ 駅前交差点付近国道246号路側帯の美化運動を行う。 <p>これらの事業を通じ、自分達が街づくりに参加することにより、活動を通じた仲間づくりと意識の向上に繋がりたい。</p>
<p>立地環境</p>	<p>横浜市青葉区は、人口30万人、横浜のチベットとも云われる、港横浜とは全く違う、東京のベットタウンです。多くの住民が生活する、ここ青葉区の住環境は非常に良い地域であり、田園都市線が区の中央を走る、まさに、若い夫婦とゆとりの老後生活世帯が共存する地域です。</p> <p>江田駅はこの田園都市線の中心駅であり、道路についても駅周辺は他の区域からの通過点であり、幹線道路が交差する重要なポイントです。</p> <p>例えば国道246号線は渋谷、二子玉川からのアクセスとなるし、厚木、綾瀬、長津田からは、緑区経由の方のアクセスとなっています。又、川崎市多摩区、新百合ヶ丘や柿生から横浜への通過ポイント、港北ニュータウンや第三京浜方面へ向かう際の通過点でもあります。</p> <p>国道246号線が駅前を通り、又駅のすぐ上には東名高速が走る交通の要となる駅・地域がこの江田駅周辺です。</p> <p>反面、幹線道路が交差するために常に渋滞が起こる、交通のイメージが悪い交差点が駅前にあります。渋滞時のドライバーのマナーの悪さから缶や弁当のプラゴミが常に投げ捨てられる場所になっています。</p> <p>原因は草がぼうぼうに生えていて、ポイ捨てをしても草の中なので、周りから目立たないからです。</p> <p>こういった悪循環を断つためには、ここで暮らしている商店会が、地域が立ち上がる必要性を感じました。</p>
<p>計画の効果</p>	<p>駅前は住む人、働きに出る人、来る人、利用する方々が日々目にする大事な場所です。ここ・駅周辺地区のイメージアップと問題の解決が、地域全体の変化に繋がります。</p> <p>緑化整備によって、課題となっているゴミ散乱の悪循環を断ち、抑止効果としての価値が出てきます。</p> <p>これも皆が関わる地域のコミュニティの形成により実現されるものと思います。地域の人々の関わりから会話が生まれ、住民の意識変化に繋がるきっかけとなることが、この事業の最大の効果です。</p>

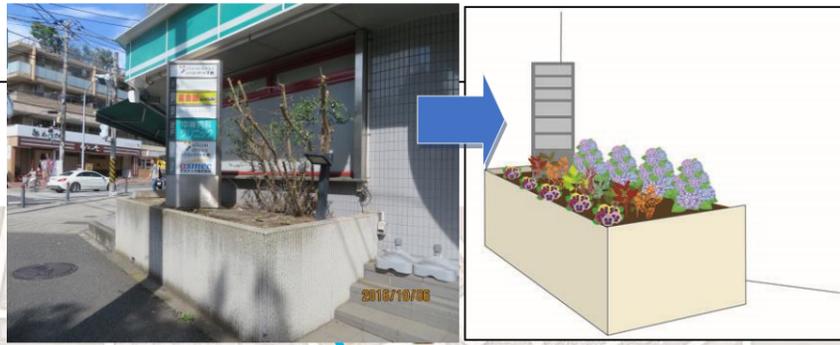
<p>計画期間中の 仲間づくり・資金</p>	<p>本団体は、商店会会員のみならず、日頃江田駅を利用する方や近隣で生活する方々が、江田駅を中心とする共通点を元に、「友達になろうよ」をテーマに互いのコミュニケーションを作り上げています。</p> <p>フラワーロードリンク（ハマロードサポーター活動）や清掃活動は、別々で利害関係のあまりない人同士が同じ事をする、共通の話題を持つことでコミュニケーションを作ります。イベントを通じて、同じ志（ボランティア精神）を持った方々と、仲間作りをし、設立3年間が経って、そのサポーターが多く存在するようになりました。これが仲間作りの原点です。</p> <p>また、ハマロードサポーター、申請予定の国交省「ボランティア・サポート・プログラム」等、他の公益的な支援は、非常に大きなやりがいを、我々NPO 的団体に与えていただいています。</p> <p>イベントや花植え活動、いづれも資金が必要ですが、商店会としての基盤がその資金源の裏付けとなっています。</p> <p>自己負担金は、活動を通じてメリットの出る企業、病院、事業所等からの寄付金、人的支援を想定しています。</p>
<p>計画期間終了後の 仲間づくり・資金</p>	<p>この緑のまちづくり計画は、3年間の継続的なサポートが付くことが、我々にとって、非常に大きなメリットです。</p> <p>その後の資金源については、活動を通じて構築される新たな繋がり、即ち商店会への入会店の増加が一つの活動資金源ともなります。</p> <p>また、メリットを享受する事業所、企業、店舗からの寄付金も期待できます。</p> <p>活動を見て、さらにこの商店会に入って、バックアップをしたいと思う企業や店舗が出てくるのが予測できます。経済の発展も同様ですが、活動の実績が出来る事で状況は大きく変化します。</p> <p>もともと団体が無い所からのスタートですが、今では大きな発展が見込める商店会に成長しました。これも皆、企画と実行が繰り返された結果の賜物とおもいます。誰でも日頃目にする街並みがきれいに変わって行く姿を見る時、明るい勇気がわくものです。</p> <p>資金的バックアップにつながる多くの賛同店舗がすでに出現しています。</p>
<p>創意工夫</p>	<p>駅周辺、そしてそこに通じる道路は通勤、通学に日々私たちの生活の中で大事な所です。私達は、日々、ここの風景、街並みを見て、今日一日が始まって終わる生活をしています。だから、ここの環境によって、毎日の気分も変わります。</p> <p>道路に放置されたゴミ、これは道路脇に草がぼうぼう状態であるが故に、ここに空き缶、ゴミの投げ捨てが始まります。きれいな樹木や花壇であれば、ここを生活の道路として使う人にとって、きれいな街並みは気分も良く、楽しい一日を送る重要な要素となります。</p> <p>この点を解決出来るのが、私達市民団体であり、活動を通じて集まるメンバーの協力体制と組織力が強みとなります。</p> <p>私達の活動は、日頃忘れていた、「公共の場は、誰かがやってくれるだろう」の意識を変える事から始まります。活動をみて、「やってくれる人がいるんだ」「なら自分もやらなければ」と声掛けが始まり、輪が広がります。</p> <p>自らのボランティア精神の活動ですが、これで友達の輪が広がります。年代を超えた地域の連携が実現する事を期待します。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p>1 年度目 (平成 28 年度)</p>	<p>【民有地緑化整備】</p> <p>① A 社沿道緑化：設計業務 ② B 社沿道緑化：設計業務と植樹工事 ④ 東急電鉄トンネル脇緑化（あざみ野寄り）：植栽工事 ⑨ F 社ビル花壇緑化：植栽工事 ⑩ 荏田北 1 丁目までの沿道緑化：設計業務、植栽工事</p> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持・管理費：花苗、肥料等の購入 ・広報・研修費：広報誌の作成 2 回、チラシの配布 2 回、お花維持管理講習会開催 1 回
<p>2 年度目 (平成 29 年度)</p>	<p>【民有地緑化整備】</p> <p>① A 社沿道緑化：植栽工事 ② B 社沿道緑化：植栽帯整備と植樹工事 ③ C 病院沿道緑化：設計業務、植栽帯の整備と植栽工事 ⑤ 駅東口前国道 246 号線植樹帯緑化：設計業務、植栽帯の整備と植栽工事 ⑥ 東急電鉄トンネル脇緑化（市ヶ尾寄り）：設計業務、植栽帯の整備と植栽工事 ⑦ 駅西口側病院沿道緑化（D 社）：設計業務、植栽 ⑧ 駅西口沿道緑化（E 社）：植栽帯整備設計業務、植樹工事 ⑩ 荏田北 1 丁目までの沿道緑化：植栽工事</p> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持・管理費：花苗、肥料等の購入 ・広報・研修費：広報誌の作成 2 回、チラシの配布 2 回、
<p>3 年度目 (平成 30 年度)</p>	<p>【民有地緑化整備】</p> <p>③ C 病院沿道緑化：植樹帯の整備と植栽工事 ⑤ 駅東口前国道 246 号線植樹帯緑化：植樹帯の整備と植栽工事 ⑥ 東急電鉄トンネル脇緑化（市ヶ尾寄り）：植樹帯整備・植樹工事 ⑦ 駅西口側病院沿道緑化（D 社）：植樹工事 ⑩ 荏田北 1 丁目までの沿道緑化：植栽工事</p> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持・管理費：花苗、肥料等の購入 ・広報・研修費：広報誌の作成 2 回、チラシの配布 2 回、 ・事務費：事務用品購入 ・諸雑費：活動中の飲料購入費等
<p>計画期間 終了後</p>	<p>当該活動を通じて、常に住民や商店主に対し、美化運動の啓蒙を実施いたします。</p> <p>各個人が積極的に活動できるよう、サポーター体制を増強し、ミニコミ誌を通じた、地域向け広報誌を使って活動を PR します。その結果、出来た絆を大事に、継続的美化運動が出来るような、組織体制をこの 3 年間で構築いたします。</p> <p>活動の資金源としては、新たに商店会に加入するお店、企業の増加が見込めます。又、近隣の優良企業からの寄付金等も考えられます。多くのイベントと事業を行い、商店会としての収益増も期待できると考えます。</p>

緑化計画図

江田駅周辺緑化整備案

⑨F社ビル花壇緑化



⑧駅西口前沿道緑化(E社)



⑦駅西口前病院沿道緑化(D社)



⑥東急電鉄トンネル脇(市ヶ尾寄り)



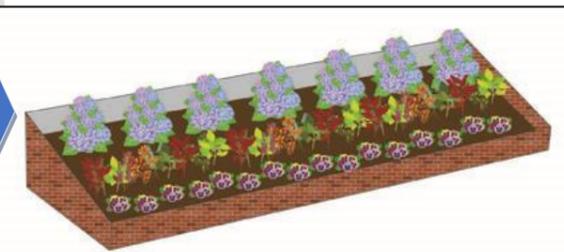
⑩荏田北一丁目までの沿道緑化



①A社沿道緑化



②B社沿道緑化



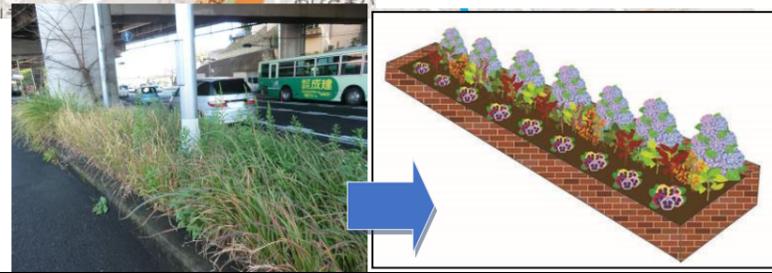
③C病院沿道緑化



④東急電鉄トンネル脇(あざみ野寄り)



⑤駅東口前国道246号線植栽帯



概算事業費（単位：千円）^(注1,5)

助成項目	細目	1年度目（平成28年度）	2年度目（平成29年度）	3年度目（平成30年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限		
1 民有地緑化	①設計等経費	小計	820	900	380	2,100	100%以内	
		(主な内容)						
		① A社沿道緑化	50	0	0	50		
		② B社沿道緑化	300	100	50	450		
		③ C病院沿道緑化	50	300	200	550		
		④ 東急電鉄トンネル脇緑化（あざみ野寄り）	50	50	0	100		
		⑤ 駅東口前国道246号線植栽帯緑化	50	100	50	200		
		⑥ 東急電鉄トンネル脇緑化（市が尾寄り）	50	150	50	250		
		⑦ 駅西口前病院沿道緑化（D社）	20	100	30	150		
		⑧ 駅西口前沿道緑化（E社）	50	100	0	150		
		⑨ F社ビル花壇緑化	50	0	0	50		
	⑩ 荏田北1丁目までの沿道緑化	150	0	0	150			
	②緑化整備等経費 <small>(注2)</small>	小計	3,450	3,180	3,630	10,260	90%以内	
		(主な内容)						
		① A社沿道緑化	300	170	30	500		
		② B社沿道緑化	1,100	300	300	1,700		
		③ C病院沿道緑化	300	1,200	1,200	2,700		
		④ 東急電鉄トンネル脇緑化（あざみ野寄り）	100	70	30	200		
		⑤ 駅東口前国道246号線植栽帯緑化	100	200	700	1,000		
		⑥ 東急電鉄トンネル脇緑化（市が尾寄り）	100	50	650	800		
⑦ 駅西口前病院沿道緑化（D社）		50	350	100	500			
⑧ 駅西口前沿道緑化（E社）		100	330	150	580			
⑨ F社ビル花壇緑化	100	60	20	180				
⑩ 荏田北1丁目までの沿道緑化	1,200	450	450	2,100				
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内		
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)		
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)	
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/本)	
3 地域緑化活動 <small>(注3)</small>	①維持・管理費	350	450	450	1,250	①～④の合計 1,000千円以内 /年度		
	②広報・研修費	500	400	400	1,300			100%以内
	③事務費	100	100	100	300			100%以内 (上限100千円/年度)
	④諸雑費	40	40	40	120			100%以内 (上限40千円/年度)
年度ごとの合計 <small>(注4, 6, 7, 8)</small>		5,260	5,070	5,000	15,330	1～3の合計5,000千円以内/年度		

(記入時の注意事項)

注1：提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金を用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5,000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15,000千円です。）

注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目間、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（28年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）